

# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。  
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



## 市民の命と財産を守るために

林野火災防ぎよ訓練



▲林野火災を想定して放水しました

7月の世界文化遺産登録を目指している新原・奴山古墳群の周辺で、3月5日に林野火災防ぎよ訓練がありました。この訓練は、空気が乾燥して火災が起きやすい時期に合わせて、山火事を想定して行われたものです。また、福岡都市圏市町村消防相互応援協定に基づいて実施され、福津市消防団だけでなく、宗像地区消防本部や宗像市消防団も参加しました。

訓練では、火災の発生を知らせる指令が消防団員に伝わると、一斉に消防車が集まりました。そして、素早くホースを伸ばし、開始からわずかな時間で放水するなど、無駄のない動きを見せていました。福津市消防団の吉田浩一団長は、「放水までに迅速に動いてくれました。日頃の訓練の成果を十分に発揮できたと思います。これからも地域に密着した訓練を実施していきます」と語ってくれました。

## 「小さな自然再生」の取り組み

土木学会デザイン賞2016受賞



◀3月8日には原崎市長に受賞を報告しました

▲小さな自然を取り戻した上西郷川

上西郷川の川づくりが土木学会のデザイン賞で最優秀賞を獲得しました。これは10年前から進めている、護岸され洪水も頻発していた川を、木や石を使って自然豊かな川に再生しました。景観の美しさに加えて、市民と共働して作り上げてきたという点も高く評価され、環境インフラの事例として、全国的にも注目を集めています。九州大学の島谷幸宏教授は「これまでたくさんの苦労がありました。みんなで協力してつくってききました」と語りました。

## 努力の結晶です

全日本チアダンス大会で最優秀賞



▲長田さん(写真右)と倉元さん(写真左)

チアダンスチームDOLLYのメンバーに所属する長田萌々子さんと倉元海花さんが、全日本チアダンス大会の結果を1月27日に市長に報告しました。ダンスの技術や構成、チーム力などが競われた部門で、長田さんは最優秀賞、倉元さんは2位を獲得しました。長田さんは「日頃の練習の成果を出せました」と語り、倉元さんも「次こそは一番になりたいです」と決意を新たにしていました。

## 暖かい春の陽気の日

あんず祭



▲だんご汁に行列ができていました

あんずの里市で3月12日にあんず祭がありました。生産者のかたによる3千杯のだんご汁のふるまいや、さまざまなステージイベントなどが行われ、各所にぎわいを見せていました。あんずの花はまだ咲き始めで、つぼみのままの木も多かったですが、薄いピンク色の花を見ることができました。

## 福津の名所を御紹介

ふるさとふくつ愛し隊の出前ガイド



▲会場は笑顔と笑い声があふれていました

手光区の公民館で、2月1日に出前ガイドが行われました。実際にその場を訪れなくても情景や雰囲気がかかるように、「楽しく福津のいいところを知ってもらえたら」とメンバーの一人、古閑由美さんは語ります。写真や小道具を使いながら、ときには会場の笑いを誘うコントも交えていました。訪れた人も情景を思い浮かべるように、うなずきながら見ていました。

## 思い切り使ってください

手縫い雑巾540枚を贈呈



▲原崎市長に雑巾を手渡す市民団体の皆さん

マスカットグループ、さざなみ、ピーチクリンズの3つの市民団体が、3月9日に手縫いの雑巾を贈呈しました。この取り組みは約10年前から続いており、市内の保育所や幼稚園、小学校等に配っています。訪れた市民団体のメンバーは「大事なものをピカピカに磨いてほしい」と語ってくれました。